

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月14日

計画の名称	安全・安心で快適な都市環境の創造（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	赤穂市												
計画の目標	赤穂市地域防災計画で一次避難所に指定されている都市公園の整備、広域防災拠点の指定を予定している都市公園の災害関連施設の整備及び都市公園の遊具・施設を更新することにより、安全・安心で快適な都市環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	444	A	444	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	赤穂市における災害時の一次避難場所として確保した土地の市民1人当たりの面積を1.0㎡/人（H28）から1.1㎡/人（R2）に増加 赤穂市における災害時の一次避難場所として確保した土地の市民1人当たりの面積を算出する。 （一次避難場所として確保した土地の市民1人当たりの面積）＝（赤穂市地域防災計画で一次避難場所に指定されている都市公園の用地確保面積）／（赤穂市の人口）（㎡/人）	1㎡/人	2㎡/人	2㎡/人
2	供用開始済都市公園の遊具における更新等整備率を16%（H28）から45%（R2）に増加 平成27年度末に現存する都市公園遊具に対し、改築、更新等整備を行った遊具数により更新等整備率を算出する。 （更新等整備率）＝（改築、更新等整備を行った遊具数）／（平成27年度末に現存する都市公園遊具数）（%）	16%	31%	45%
3	広域防災拠点の指定に向けて災害関連施設の整備箇所数を0箇所（H30）から2箇所（R2）に増加 赤穂城南緑地における災害関連施設の整備箇所数。	0箇所	1箇所	2箇所

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	赤穂市	直接	赤穂市	—	—	都市公園事業（野中・砂子公園）（1-A-1）	園路、広場、備蓄倉庫等 2.0ha	赤穂市	■	■				372		—	
	A12-002	公園	一般	赤穂市	直接	赤穂市	—	—	赤穂市公園施設長寿命化対策支援事業（1-A-2）	赤穂城南緑地等35公園における遊具・施設の改築、更新	赤穂市	■	■	■	■	■	21		策定済	
	A12-003	公園	一般	赤穂市	直接	赤穂市	—	—	都市公園事業（赤穂城南緑地）（1-A-3）	災害関連情報提供設備、災害支援物資集約所整備	赤穂市			■			51		—	
											小計							444		
											合計							444		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>赤穂市において目標の達成状況と指標の達成状況を確認</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和2年度末</p> <p>公表の方法</p> <p>赤穂市ホームページにて公表</p>
---	--

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民1人当たりの一次避難場所面積を増加および災害関連施設の整備を行うことにより、市民の安全・安心を向上させた。 ・都市公園に現存する遊具の改築、更新等を行い、公園の長寿命化を図るとともに、快適な都市環境を創造した。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

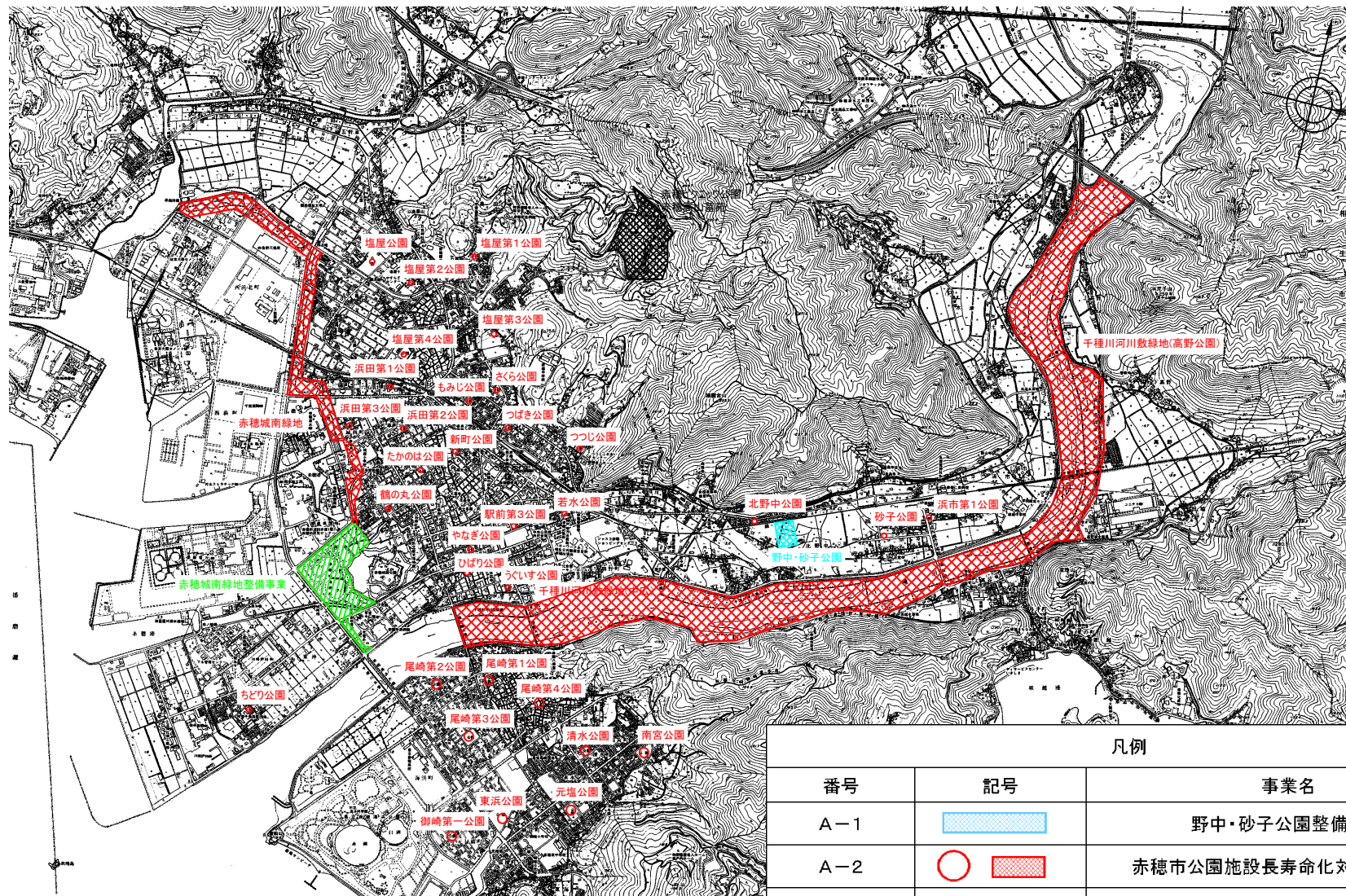
○特記事項（今後の方針等）

引き続き都市公園に現存する遊具の改築、更新等を実施し、快適な都市環境の創造を図りたい。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	一次避難場所の市民1人当りの面積		
	最終目標値	2㎡/人	目標どおり達成することができた。
	最終実績値	2㎡/人	
2	改築、更新等を行った遊具の整備率		
	最終目標値	45%	現地再精査の結果、維持補修程度の軽微な対策で済む遊具は、本計画の対策遊具から除外したため。
	最終実績値	25%	
3	赤穂城南緑地における災害関連施設の整備箇所数		
	最終目標値	2箇所	社会経済情勢の変化等により、1箇所の整備は先送りとした。
	最終実績値	1箇所	

(参考図面)

計画の名称	安全・安心で快適な都市環境の創造(防災・安全)		
計画の期間	A-1 : 平成28年度 ~ 平成30年度 (3年間) A-2 : 平成28年度 ~ 令和 2年度 (5年間) A-3 : 平成30年度 ~ 令和 2年度 (3年間)	交付対象	赤穂市



凡例		
番号	記号	事業名
A-1		野中・砂子公園整備事業
A-2		赤穂市公園施設長寿命化対策支援事業
A-3		赤穂城南緑地整備事業